

第36回日本緑内障学会 ランチョンセミナー3

Alcon

日時：2025年9月12日（金）12：40～13：40

会場：第4会場（神戸ポートピアホテル 南館 B1F エメラルド）



Hydrus®緑内障マイクロステントの 真の実力

日本と海外における
評価と展望

Hydrus® 緑内障マイクロステントが本邦で薬事承認、使用開始となって早1年が経過しようとしています。Hydrus® 緑内障マイクロステントはMIGSデバイスでは初めて“Tri-modal™”と呼ばれる3つの作用メカニズムを有し、シュレム管の物理的な拡張や留置位置の正確性という付加価値を持っています。また海外の治験データからは長期的な眼圧下降効果、点眼薬剤数の減少、視野維持効果など、多くの有用性が示されており、持続的な眼圧下降効果を患者さまへ提供できる可能性を持ったデバイスです。本セミナーでは日本、海外における緑内障のエキスパートである4名の著名な先生方をお招きし、Hydrus® 緑内障マイクロステントの製品特徴がもたらす新たな価値、日本国内の短期結果、長期的視点からの緑内障手術治療、そして海外でのHydrus® 緑内障マイクロステント使用状況とTipsをご講演いただきます。一人でも多くの先生方のご参加、お待ちしております。



座長

庄司 信行 先生
(北里大学)



演者

「Hydrusの真価：OCTで見る
Schlemm管拡張と確実な留置」

杉原 一暢 先生
(島根大学)



演者

「Hydrusの短期評価・
インプラント挿入のコツ」

庄司 拓平 先生
(小江戸眼科内科 白内障・
緑内障・糖尿病クリニック)



演者

「緑内障手術における
長期効果の重要性とHydrus®
緑内障マイクロステントの可能性」

新田 耕治 先生
(福井県済生会病院)



演者

「Optimizing Outcomes
with Hydrus Microstent」

Dr. Perera Shamira
(Singapore National Eye Centre)

共催：第36回日本緑内障学会／日本アルコン株式会社

Alcon